

# Structure Kansai No.106 2010.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

## 平成22年度(社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会開催 5月13日開催



関西支部 支部長

「新年度を迎え」

(株)東畑建築事務所  
近藤 一雄

関西支部長の大役を担うことになり早くも一年が過ぎました。会員の皆様のご協力により、大きなトラブルも無く、活動できましたことに感謝いたします。

団塊世代の退職に伴う退会者が増加している中でここ数年正会員数が横ばいでありましたが、この1年JSCA全体で約200名増加となり3月末正会員は4000名となりました。関西支部も同様の傾向で、3月末576名の会員の方がおられます。是も会員皆様の活動の成果が認められたものと考えます。

本年は従来の事業の継続と共に、昨年度から開始いたしました新活動をより充実することを目標と致したいと考えております。

①大阪府域の直下型地震に対応する建築設計用地震波の検討を精力的に行っています。秋には、報告書としてまとめます。

②若手技術者を対象とした基礎編講習会残り2回終了後、熟練領域に達した設計者を対象により一層の技術に磨きをかける目的で、応用編シリーズを開催いたします。

③耐震診断・補強判定委員会関西支部会出は現在26件が判定完了し、7件が進行中です。本年も引き続き活動していきます。会員の皆様の積極的な関わりを御願ひ致します。



関西支部 副支部長

「建築構造技術者のこれから」

(株)平田建築構造研究所  
西村 清志

確認申請、適判制度共に指摘が大変細かくなっています。建築構造設計は精密機械とは異なります。細かい所ではなく、概要を理解して的確な指摘を出す事が、基本だと思います。適判の基本は設計者同士の設計確認です。設計者、適判員どちらの立場でも、何度も受け答えが続くことは避けなければなりません。

建築構造設計者とは、生活に必要な建築的要求を取り入れ、経済性を考慮し、関連法令を遵守しながら、構造物を創り上げる技術者であります。建築構造物は長い期間に亘り使用する財産で、地震時には命を守る重要なシェルターであります。構造設計技術者が適正な報酬を得ることができ、所属する事務所が安定的な経営のできる業種であることを国が、保障しなくてはならないと考えます。安定経営は構造技術者を育成し、設計された建物の品質を安定させ、向上させるため重要であると考えます。告示15号は設計事務所から施主に対しては効力を発揮しますが、構造設計の発注者と構造事務所の間では効力を失い、簡単な経済原則である需要と供給の関係に成り下がり、安ければ何でも良い基準になっている場合が多いようです。法的に構造設計業務を保護育成しなければ、青年技術者を育てられるまともな構造事務所は無くなってしまいます。



関西支部 副支部長

「歴史建築と建築構造技術者との関わり」

(株)鹿島建設  
辻 幸二

副支部長に就任してから早くも1年が経過して、月日の早さに今更ながら驚いております。今日(6月3日)の朝日新聞は鳩山・小沢退陣のニュース一色で、僅か8ヶ月の短命内閣でした。先の衆院選挙で圧勝した民主党の勢いが両氏の金銭問題を契機に衰えを見せ、普天間移設で止めを刺されたということでしょう。

一方、昨日の朝日新聞の奈良版に、非常にうれしいニュースが載っていました。JSCA関西の仲間である長瀬さんが建築学会賞(技術)を受賞されたということで、ご本人と唐招提寺の模型の写真入りで、掲載されていました。建築学会賞を受賞された方はたくさんおられる中、朝日新聞がトップ記事に近い扱いをしたことは大きな驚きですが、400年後の世界で平成の技術が問われる、言い換えれば、400年後の技術者と勝負していることに、新聞記者が共感を覚えたのではないかと思います。

同じ奈良県下の学校建築で、弊社のプロジェクトチームも建築学会賞(教育)を受賞していますが、こちらは残念ながら、朝日新聞に取り上げていただけませんでした。悠久の時、時の移ろい、風雪、地震等に負けない建築、そのようなプロジェクトに構造設計者として参画できる機会が関西にはまだまだ存在すると思います。長瀬さん、おめでとうございます。



松が枝  
国際ターミナルビル

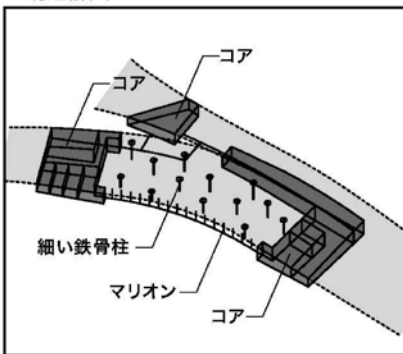
(有)桃李舎  
榎田 洋子

当建物は長崎湾の松ヶ枝埠頭に建つ国際客船ターミナルで、上海万博にあわせて4月に開港した。これはプロポーザル形式で設計者を選出した長崎県の公共事業である。有識者によるデザイン会議で提示された基本構想と諸条件を、我々の設計チーム（設計：インターメディア／佐々木信明・NKSアーキテクト／末廣香織・宣子）で咀嚼し、根気強く県と交渉を続けてこの完成形を導いた。

デザイン会議から提示された基本構想はランドスケープデザインが主体であった。建物は地を這うような平屋で、屋根は丘陵のような緩やかな勾配で地盤面までおいている。屋根は緑化して、周辺の公園の中に溶け込ませ、存在感を消すことを要求された。一方、内部空間には1000㎡の大空間と海外からの旅客の送迎にふさわしい高揚感が求められた。この矛盾する外からと内からの要求をどう満たすかが設計のポイントになった。

RC造で作ることが設計条件だったので、1000㎡の大空間を階高の低いところでは3.5mに押さえて実現するために、3次元の勾配をもつ屋根を無梁版構造とし、ランダムに配置した鋼製柱で支える方式を採った。鋼管柱をできるだけ細くするために周辺に耐震コアを設けた。

#### ■構造計画



階高が低いので壁面からの光が採りにくい。そこで一枚板の大屋根をYの字に裂くように切れ目をいれて、トップライトを設けたが、それでも採光は不足し、大空間の真上にも開口が必要となった。どこに開けるにせよ、開口補強は必要となる。そこで、鋼管柱の柱頭にトップライトを開けることにした。重

要な柱頭に開口部を設けることは、冒険だったが、開口補強を兼ねた鋼製リングを考案することで解決した。鋼製リングは直径2m、断面はコの字型で、柱から放射状に伸びた6枚の鋼板が支えている。場所により屋根の勾配が異なるので、リングの芯材を柱と傾けて溶接し、リングの形状は同一とした。柱からぶら下がったリングには天井を照らす照明が仕込まれており、夜には上のガラスから光が漏れて、屋上庭園の足元照明になる。オープンスペースの中で、柱は邪魔になるものだが、ここでは照明や採光の工夫でその存在が特徴づけられている。

構造のもう一つの特徴は大屋根がYの字に裂けた部分のトップライトである。このガラスの支持材は、RCの大屋根を斜めに支えるバットレスの役割もある。そのために屋根の部屋内の境界部に鉛直の柱が不要となり、美しい光を落とすエントランスが演出できた。

個人事務所事例が無い設計を行う場合、チェック機構が働かないことが最も怖い。そこで実施設計が佳境に入った頃、信頼できるJSCAの友人や、若手の人たちに集まってもらって図面を広げ、設計概要を説明した後、ざつぱらんに意見を言ってもらった。それが実に有意義で、何より楽しかった。対等の立場で技術論を交わす高揚感。この仲間で「出前ピアレビュー」を企画しようかなと思ったぐらいである。この話は懇親会で批判もあったが、このような小さな超党派的な活動を通して、会員同士がレベルアップを図ることこそ、JSCAの本来の存在意義があると思っている。上田博之さん、大崎純さん、津田勢太とその仲間のみなさん、ピアレビューに参加下さってありがとうございました。構造設計はやっぱり楽しいですね。丸岡義臣さん、鉄骨製作のご指導を感謝します。最後に、デザイン発表会で1票を投じて下さった皆さんに感謝します。とても励まされました。



JSCAデザイン発表会優秀賞について  
グリップダウン工法  
によるタワー解体  
(株)竹中工務店  
大阪本店設計部  
榎井 哲也

#### 1. はじめに

2009年、展望台、電波塔を備えた高さ157.8mの「朝日放送タワー（大阪タワー）」（1966年建設）が解体された。この解体において、タワーの脚部で部材の切断とジャッキダウンを繰り返し、下部からタワーを解体する「グリップダウン工法」を開発、適用した。

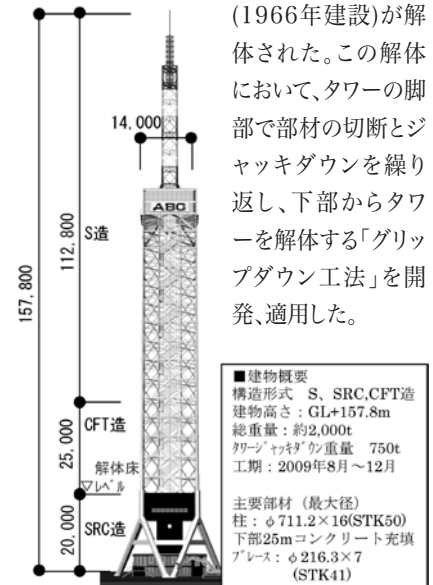


図-1 タワー概要

#### 2. グリップダウン工法の概要

本工法は、タワーの下部SRC躯体に設置した仮設鉄骨（ガイドフレーム）と油圧ジャッキによりタワー脚部を支持しながらタワーを下部躯体床上で解体、5mごとにタワー降下を繰り返す。ガイドフレームをタワー解体部分に限定して設置するため、下部躯体・基礎は補強せずそのまま利用できることが特徴である。

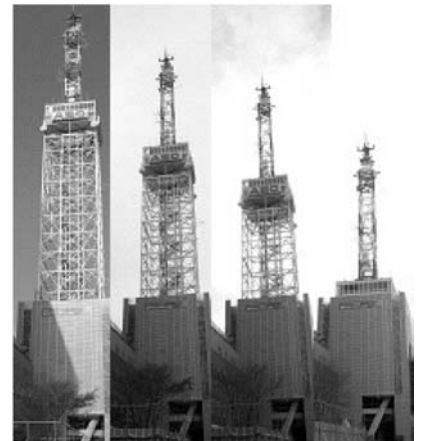


写真-1 タワー解体状況

タワー柱の既存ダイヤフラム直下に柱脚ピースと呼ぶ仮設鉄骨を圧着固定(グリップ)しタワー脚部を支持、ガイドフレーム上部に設置したジャッキから柱脚ピースを懸垂しタワーを支持する。その後、柱脚ピースより下部の部材を解体、タワー全体を降下(ダウン)させる。

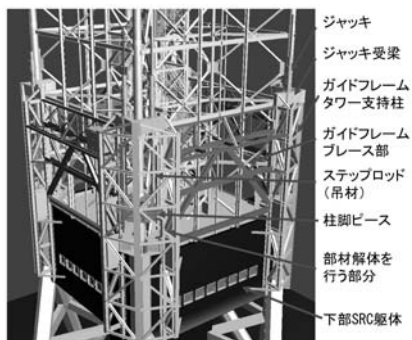


図-2 タワー支持構成

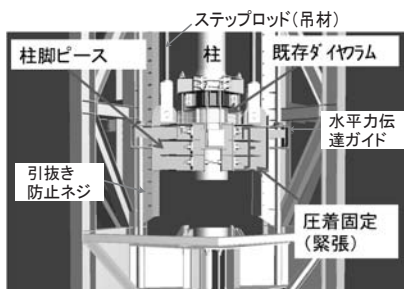


図-3 グリップダウン機構詳細

### 3. タワー構造解析と構造安全性検証

各解体段階の架構立体応力解析・地震応答解析を行い、常時、地震・風荷重時の構造安全性検証を行った。また本工法の特徴である降下時の架構応力解析、機器故障など非常時の検証を行った。主な検討項目は①各解体段階におけるタワー鉛直反力、地震・風荷重時反力評価とタワー架構安全性検証、②降下途中のジャッキ反力変動予測、タワー架構安全性から決まる施工管理値の設定、③グリップダウン機構故障など非常時のタワー架構安全性検証と対応策策定などである。

### 4. まとめ

構造設計者がタワー解体工法の策定、工法実現性の検証に積極的に関与し、社内各部署との協業により高所解体作業の激減等を図る工法を開発した。今後も新築建物の解析・設計だけでなく、他分野にも積極的に構造解析技術を適用し、社会のニーズに応えていきたい。



「INAX 大阪ビル」  
— 既存杭を100%利用  
した市街地オフィスビル

株式会社 建設  
嘉村 武浩

### 1. 建物の特徴

本建物の特徴は以下の2点である。

#### ① 既存躯体の利用

- 既存杭を新築建物の杭として再利用
- 既存地下外壁を本設利用

#### ② タイルそのもので作られた壁面

- 三角形のテラコッタをガラスとサンドイッチすることで、タイルを外壁そのものとして扱った新しい試みのファサード

### 2. 既存躯体の利用

#### 2.1 既存杭の再利用

8階建てSRC造の既存建物重量と13階建てS造の新築建物の重量バランスをとって既存建物の杭を新築建物の杭として再利用した。既存基礎の上部に新築建物を設置して新築の杭を1本も打設せずに杭工事をなくすことができた。(図1)

またこれにより既存杭撤去工事も不要となり、コスト低減、工期短縮、環境負荷低減を図ることができた。

#### 2.2 既存地下外壁の本設利用

既存地下外壁の内側に新築建物を計画して既存地下外壁を極力残す計画とした。新築地下外壁と一体化して本設利用している。躯体工事費の削減のほか、既存地下外壁は山留壁を兼用することができ仮設費用の削減につながった。

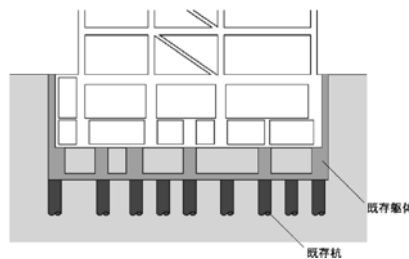


図-1 断面図

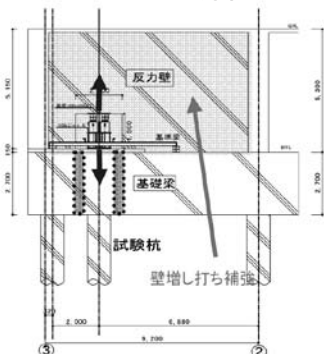


図-2 杭鉛直載荷試験

### 2.3 既存躯体調査の実施

既存躯体耐久性の確認試験および杭の載荷試験を行った。杭の載荷試験は既存建物の撤去前に行い、既存建物重量を反力として利用することで反力杭の施工を省略している。(図2)

### 3. タイルそのもので作られた壁面

三角形のテラコッタをガラスとサンドイッチして構成されているファサードはフロア一間で1つのユニットとなっており、ユニットごとにロッキング変形することで地震時の層間変位に追従するシステムとなっている。採

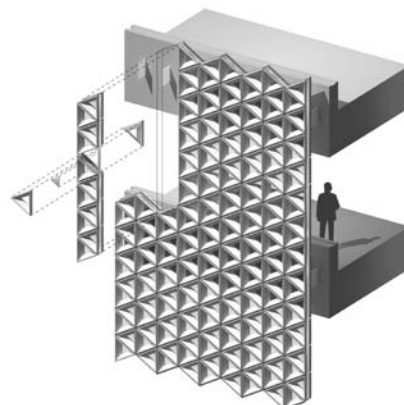


図-3 テラコッタ・テノール概念図





**JSCA奈良会**  
**東大寺総合文化センター**  
**建設工事見学会報告**  
 (株)京成設計  
 木村 宜央

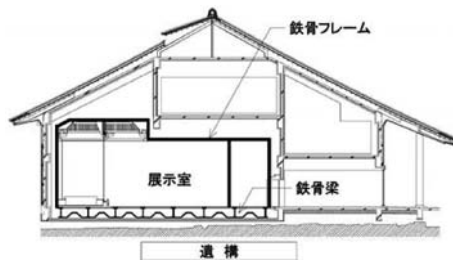
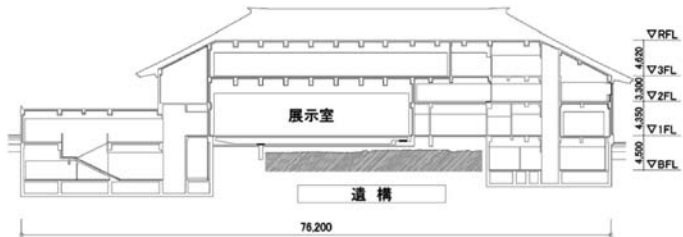
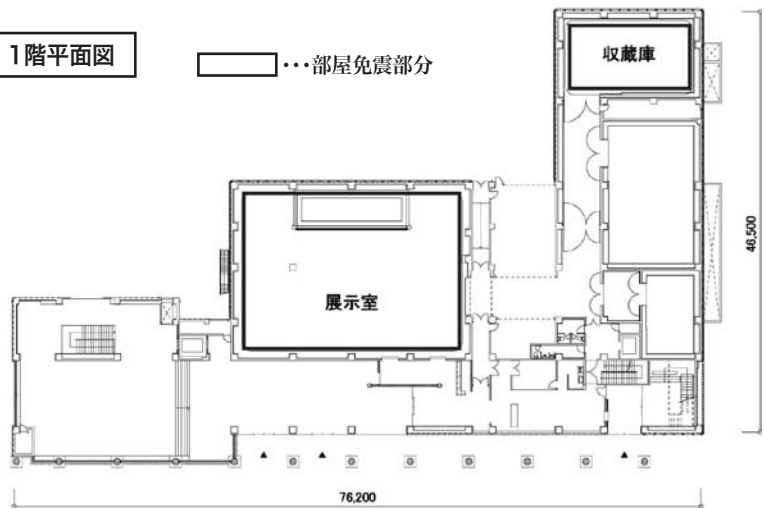
2010年3月6日(土)、東大寺総合文化センター建設工事の見学会が開催された、参加人数は25名と盛況で、構造設計を担当された、有限会社 金箱構造設計事務所の代表取締役 金箱温春氏と、大林組・三和建設・ゴセケン共同企業体の東大寺JV工事事務所 所長 戸本保氏により案内頂き、通常は入ることのできない工事中の現場を特別に見学させて頂いた。総合文化センターに入る前に、金箱氏より建物について説明を受けた後文化財保存に必要な免震構造の解説を頂いた。



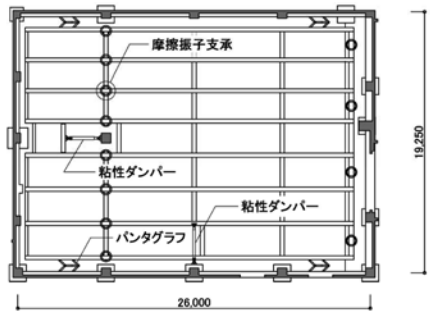
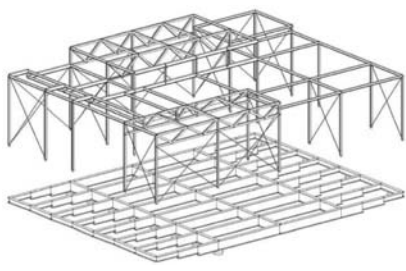
建築物用途 : 展示室・収蔵庫  
 建築面積 : 3,431.06㎡  
 延床面積 : 5,855.23㎡  
 構造・規模 : RC造(一部S造)  
                   地下1階・地上3階  
 最高部高さ = GL+16.950m  
 最深部 = GL-3.64m

国宝級の展示品が展示・収蔵されるため、建物全体を免震構造とすることが望ましいと考えられていたが敷地内の一部に鎌倉時代の遺構があり、これらの保存のために掘削深さが制限され、建物全体の基礎免震が不可能となり、展示室全体を免震とする「部屋免震」をされたそうだ。部屋免震を採用された理由としては①積載荷重が大きく強固な床が必要とされ②気密性が要求された。摩擦振子支承を採用する事により、復元力は支承の曲率により得られ、重量に関係なく固有周期が決まり積載荷重の変動が大きい展示室の免震支承としては最適であったとの事であった。

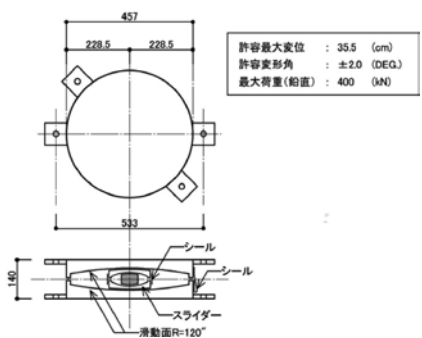
1階平面図



鉄骨フレーム



摩擦振子支承



EPS社製

奈良盆地東部断層を起因とする地震動の応答が最も大きく、応答加速度140gal、水平変位 約30cmとなるため粘性ダンパーを使用し、不測の事態を考慮して、床面のねじれを防ぐために平行移動装置(パンタグラフ)を4箇所設けておられる。尚、仏像の転倒防止のため摩擦振子支承の性能試験を視覚的に行うとの事で縦横比の異なる試験体において確認されている。

謝辞  
 今回の見学会に際し、案内・解説頂いた金箱温春氏、戸本保氏をはじめ、見学会を企画、実現された関係各位に厚くお礼を申し上げます。

## ■JSCA関西支部2009年度事業報告

(2009年4月～2010年3月)

- 1.2009年度支部総会 5/20 建設交流館グリーンホール  
出席者53名(委任状251名)
- 2.支部幹事会 4/27, 10/26
- 3.四役会 4/7, 6/15, 7/14, 8/18, 9/8, 10/20, 1/12, 2/9, 3/9
- 4.事業委員会 4/14, 10/20
- 5.技術委員会 5/13, 7/7, 8/19, 10/15, 12/2, 1/19, 3/2
- 6.広報委員会 4/15, 7/15, 10/14, 1/13
- 7.構造レビュー委員会 4/15, 6/3, 6/16, 7/9
- 8.木造住宅レビュー委員会 4/6, 4/20, 5/12, 6/24, 7/16, 8/25,  
10/1, 10/30, 11/18, 1/22, 2/19, 2/26, 3/1
- 9.耐震診断・補強判定委員会関西支部 8/31, 9/28, 10/6, 10/27,  
11/16, 12/19, 1/7, 2/10, 3/11
- 10.定例研究会 7/10 西本町インテス 構造デザイン発表会  
参加者104名
- 11.新年活動報告会 1/20 建設交流館 参加者98名  
・技術委員会の報告(構造ゼミナール)  
・奈良会の活動報告  
・講演「古代を解く」-唐招提寺金堂の保存修理-
- 12.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会  
活動準備 8/31, 9/24, 10/10, 10/20  
設立総会 11/2  
幹事会、専門委員会 1/5, 3/30  
WG活動 WG1:12/26, 3/6 WG3:1/19, 2/5, 2/25, 3/9  
WG4:12/1, 2/10, 3/17 WG5:1/21, 2/2, 2/17, 2/24
- 13.現場見学会  
・アーバン茶屋町プロジェクト 7/31 参加者 46名  
・関西医科大学付属香里病院 3/5 参加者 27名
- 14.アーキニアリング・デザイン展(主催:日本建築学会)  
9/28～10/12 京都工芸繊維大学・美術工芸資料館 参加者1258名
- 15.視察研修  
・第22回海外研修「キャンデラ建築とメキシコ世界遺産視察」インフルエンザのため中止
- 16.構造設計ゼミナール  
第10回「構造計算適合性判定を考えよう」  
4/24 科学技術センター 参加者 54名  
第11回「RC壁の実務的取り扱いの現状と課題」  
6/26 科学技術センター 参加者 70名  
第12回「魅せる鉄骨建築」～設計知識と設計事例  
9/25 科学技術センター 参加者 48名  
第13回「今さら聞けない地震・地盤・杭」  
12/11 科学技術センター 参加者 58名  
第14回「構造計算適合性判定制度は、今後どうなるのか！」  
2/19 科学技術センター 参加者 56名
- 17.支部報  
Structure Kansai No.101,102,103,104 発行
- 18.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 4/23, 6/16, 9/2, 10/7, 11/5, 12/3, 1/21  
・RC分科会 4/7, 5/12, 6/10, 6/24, 9/8, 11/20, 2/2  
・金属系分科会 4/21, 6/18, 7/21, 8/31, 11/13, 3/9  
・情報システム分科会 5/12, 6/1, 2/3  
・耐震設計分科会 4/21, 11/17, 12/15, 3/26  
・PC・工業化分科会 4/10, 7/17, 10/9, 1/15, 2/24, 3/16  
・構造計画分科会 11/13, 12/14, 1/28  
・木構造分科会 4/1, 6/3, 8/5, 10/7, 12/2, 2/3  
・法制分科会 6/8, 8/3, 9/3, 10/8, 11/11, 1/6, 2/8
- 19.サテライト活動  
・奈良会 9/11 東大寺大仏殿小屋組見学 参加者35名  
3/6 東大寺総合文化センター見学 参加者25名  
・兵庫会 特になし  
・京滋会 11/20 森迫清貴教授講演会「鉄骨骨組の静的・動的挙動予測」  
+ α 学芸出版社 参加者26名
- 20.講演会  
・「JSCA賞受賞作品に見る空間デザインと構造設計」  
10/3 京都工芸繊維 参加者65名
- 21.講習会  
・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」  
4/1 安田ビル会議室 参加者8名  
・「スキルアップセミナー」  
9/29 建築健保会館 参加者59名  
・「若手技術者育成講座」  
2/4 科学技術センター 参加者16名  
・「JSCA構造設計若手実務者研修」  
2/13 エル大阪 参加者54名  
・「伝統的な軸組構法を主体とした木造住宅建築物の耐震性能評価・耐震補強マニュアル」  
3/5 大阪府建築健保会館6階ホール 参加者115名
- 22.親睦会  
・定例研究会懇親会 7/10 西本町インテス 参加者74名  
・賀詞交歓会 1/20 建設交流会館 参加者91名
- 23.研究受託  
・限界耐力計算による木造住宅の耐震設計レビュー  
・構造レビュー「某建物の構造補強の妥当性について」

- ・大阪市「大阪市立大江幼稚園耐震診断業務」  
・奈良県「伝統構法住宅等耐震技術普及のための調査・研究業務」  
・奈良県「建築構造の確認に関する講習会」(企画、実施) 12/22

## 24.他団体への委員・講師の派遣

### 委員の派遣

- ・大阪市住まい公社「大阪市耐震改修支援機構」  
近藤一雄、榎原健一、榎田洋子、横田友行  
・神戸市「建築構造専門審査会」 久森敏平、山田正人  
・神戸市「神戸市耐震改修計画判定委員会」  
久森敏平、山田正人、石本泰宏、藤田信夫、福良徹、武野朋子  
・(財)日本建築総合試験所「各種構造審査委員会」  
近藤一雄、多賀謙蔵、森田秀喜  
・(財)日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 安井雅明  
・(財)日本建築総合試験所「判定助言委員会」  
近藤一雄、辻幸二、西村清志、西村勝尚、多賀謙蔵  
・(財)大阪建築防災センター「大阪府公立学校施設耐震診断等判定委員会」  
辻幸一、瓜生田尚彦、緑川功  
・(財)大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 多賀謙蔵  
・(財)大阪建築防災センター「大阪府建築確認に関するアドバイザー委員会」  
近藤一雄  
・(財)日本住宅・木材技術センター「伝統構法の設計法作成及び性能検証実  
験検討委員会」 榎原健一、野島千里、横田友行  
・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 近藤一雄  
・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

### 講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定養成講  
習会」10/13, 11/17, 2/10, 3/10 西邦弘、横田友行、湧川寛洋  
・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定更新講  
習会」 吉澤幹夫  
・大阪府建築士会「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断・改修指針講  
習会」10/28, 10/29 多賀謙蔵、谷口由乃、水井勇人、八木貞樹、  
河野隆史、西崎隆氏、嶋崎敦志  
・大阪府建築士会「既存鉄骨建築物の耐震診断・改修指針講習会」  
11/16 島野幸弘、渡辺律夫、新居努、塚越治夫  
・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」一般診断法  
8/6, 9/3, 10/6, 11/11, 1/26 野島千里、小倉正恒、榎田洋子、横田友行  
・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」限界耐力計算  
10/22, 12/1, 2/16 小倉正恒、榎原健一、野島千里、榎田洋子、横田友行  
・大阪府建築士会「建築士のための建築技術講習会」  
6/12, 12/18, 3/19 榎原健一、加登美喜子、村上陸太  
・奈良県土木部まちづくり推進局建築課「構造関係技術基準講習会」  
2/17, 3/3 辻幸二、多賀謙蔵、新保勝浩、安井雅明、島野幸弘、  
山浦晋弘、嶋崎敦志、塚越治夫  
・尼崎市都市整備局「建築技術研修会」 11/20, 12/4, 12/18, 1/22  
村上陸太、西崎隆氏、大堀太志、野澤裕和、山下靖彦、池田英美

## 25.関連団体との交流

- ・建築関連14団体事務局会議 4/8, 9/8  
・建築関連14団体会長・支部長ご餐会 11/4  
・建築関連14団体2010年新年交礼会 1/4

## ■JSCA関西支部2010年度事業計画

(2010年4月～2011年3月)

- 1.2010年度支部総会 5/13 建設交流館グリーンホール
- 2.支部幹事会 4/13
- 3.四役会 4/19
- 4.事業委員会 4/6
- 5.技術委員会 5/12
- 6.広報委員会 4/15
- 7.構造レビュー委員会
- 8.木造住宅レビュー委員会 4/20
- 9.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/14
- 10.定例研究会 5/13 「構造デザイン発表会」建設交流館グリーンホール
- 11.新年活動報告会 1月予定
- 12.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会  
幹事会、専門委員会 6/29  
WG活動 WG1: 6/5 WG3: 4/23
- 13.現場見学会 6/10 予定 本町南ガーデンシティ
- 14.視察研修
- 15.構造設計ゼミナール  
第15回「サブストラクチャの構造デザイン」 4/16  
第16回「PC構法の耐震設計」 7/9
- 16.支部報 Structure Kansai No.105,106,107,108 発行予定
- 17.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 4/15  
・RC分科会 4/26  
・金属系分科会  
・情報システム分科会 4/28  
・耐震設計分科会

- ・PC・工業化分科会 4/13
- ・構造計画分科会
- ・木構造分科会 4/7
- ・法制分科会 4/22

18. サテライト活動

- ・奈良会 ・京滋会 ・兵庫会

19. 講習会

- ・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」 4/7
- ・「JSCA構造設計若手実務者研修」 4/23, 6/18, 8/20
- ・「若手技術者育成講座」 2月予定
- ・「スキルアップセミナー」
- ・「伝統的な軸組構法を主体とした木造住宅・建築物の耐震性能評価・耐震補強マニュアル」

20. 親睦会

- ・支部総会懇親会 5/13 建設交流館
- ・賀詞交歓会 1月予定

21. 研究受託

- ・限界耐力計算による木造住宅の耐震設計レビュー

22. 他団体への委員・講師の派遣

委員の派遣

- ・大阪市耐震改修支援機構
- ・神戸市「建築構造専門審査会」
- ・(財)日本建築総合試験所「各種構造審査委員会」
- ・(財)日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」
- ・(財)大阪建築防災センター「大阪府公立学校施設耐震診断等判定委員会」
- ・(財)大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」

- ・(財)大阪建築防災センター「大阪府建築確認に関するアドバイザー委員会」
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」
- ・「伝統構法の設計法作成及び性能検証実証検討委員会」

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定養成講習会」
- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定更新講習会」
- ・京都市都市計画局建築指導部「京町家派遣耐震診断士講習会」
- ・大阪府建築士会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断・改修指針講習会」
- ・大阪府建築士会「既存鉄骨造建築物の耐震診断・改修指針講習会」
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」
- ・大阪府建築士会「建築士のための建築技術講習会」
- ・大阪府建築士会「すべての建築士のための総合研修」
- ・奈良県土木部まちづくり推進局建築課「構造関係技術基準講習会」
- ・八尾市公共建築課「耐震診断講習会」
- ・尼崎市「建築技術研修会」
- ・奈良女子大学の非常勤講師
- ・コンクリートパイル建設技術協会「技術講習会」

23. 関連団体との交流

- ・建築関連14団体事務局会議
- ・建築関連14団体会長・支部長ご宴会
- ・建築関連14団体2011年新年交礼会

■2010年度支部役員及び委員

●幹事

支部長	近藤 一雄 (東畑建築事務所)	支部担当理事
副支部長	西浦 幸二 (鹿島建設)	本部担当理事
副支部長	太田 清利 (平田建築構造研究所)	
	小椋 村葉 (うらたつみ建築技研)	
	新角 田倉 (鴻池組)	
	多平 正健 (清水建設)	
	増松 原保 (SERB)	
	宮森 賀謙 (和田建築技術研究所)	
	安横 田村 (日本建築総合試験所)	
	井田 賀謙 (日建設計)	
	三福 原清 (三菱地所設計)	
	内谷 直樹 (エース構造設計事務所)	
	馬八 尾俊 (松村構造計画)	
	石原 直樹 (山田建築構造事務所)	
	野敏 樹弘 (安井建築設計事務所)	
	阿片 直樹 (馬瀬構造設計事務所)	
	神野 樹弘 (大林組)	
	佐藤 樹弘 (和田建築技術研究所)	
	嶋崎 樹弘 (和建建築設計事務所)	
	西村 樹弘 (イオリ建築設計事務所)	
	石原 樹弘 (安井建築設計事務所)	

●技術委員会

委員長	賀謙 (日建設計)
委員	西大 謙隆 (竹中工務店) ...RC
	島村 賀謙 (大林組) ...FC・工業化
	平川 賀謙 (竹中工務店) ...金属系
	白楠 賀謙 (竹中工務店) ...耐震設計
	横田 賀謙 (竹中工務店) ...地盤系
	田村 賀謙 (構造計画研究所) ...情報システム
	井田 賀謙 (北條建築構造研究所) ...構造計画
	安横 賀謙 (安井建築設計事務所) ...法制
	井田 賀謙 (能勢建築構造研究所) ...木構造

●広報委員会

委員長	安石 井雅 (大林組)
委員	大越 雅貴 (鹿島建設)
	永金 明志 (鹿島建設)
	河野 智明 (大林組)
	白田 智敏 (鴻池組)
	中山 智敏 (K&S構造設計事務所)
	山崎 智敏 (竹中工務店)
	中山 智敏 (山田建築構造事務所)
	中山 智敏 (北條建築構造研究所)
	中山 智敏 (日建設計)
	中山 智敏 (日建設計)
	中山 智敏 (イオリ建築設計事務所)
	中山 智敏 (安井建築設計事務所)
	中山 智敏 (竹中工務店)

●構造レビュー委員会

委員長	阿波 寛幸 (鴻池組)
委員	浦野 幸男 (日建設計)
	片山 利健 (うらたつみ建築設計室)
	近藤 利健 (SERB)
	多新 利健 (竹中工務店)
	永西 利健 (東畑建築事務所)
	西福 利健 (和田建築技術研究所)
	北條 利健 (日本建築総合試験所)
	山崎 利健 (日建設計)
	山崎 利健 (鹿島建設)
	山崎 利健 (能勢建築構造研究所)
	山崎 利健 (平田建築構造研究所)
	山崎 利健 (大林組)
	山崎 利健 (防災科学技術研究所)
	山崎 利健 (北條建築構造研究所)
	山崎 利健 (桃李舎)
	山崎 利健 (山田建築構造事務所)
	山崎 利健 (安井建築設計事務所)
	山崎 利健 (大林組)
	山崎 利健 (能勢建築構造研究所)

●木造住宅レビュー委員会

委員長	原健一 (SERB)
委員	上田 延修 (日本建築総合試験所)
	大小 恒修 (大崎建築設計事務所)
	野村 正忠 (清水建設)
	野村 直幹 (竹中工務店)
	野村 千洋 (野島建築設計事務所)
	野村 友行 (桃李舎)
	野村 友行 (能勢建築構造研究所)

●耐震診断・補強判定委員会関西西部会

委員長	阿波 幸寛 (日建設計)
委員	近藤 幸雄 (鴻池組)
	西村 幸雄 (東畑建築事務所)
	西村 幸雄 (鹿島建設)
	西村 幸雄 (大林組)
	西村 幸雄 (平田建築構造研究所)
	西村 幸雄 (防災科学技術研究所)
	西村 幸雄 (竹中工務店)
	西村 幸雄 (フォルムふぉらえ)
	西村 幸雄 (峯構造技術研究室)
	西村 幸雄 (安井建築設計事務所)
	西村 幸雄 (大林組)
	西村 幸雄 (日本建築総合試験所)
	西村 幸雄 (大崎建築設計事務所)
	西村 幸雄 (清水建設)
	西村 幸雄 (野島建築設計事務所)
	西村 幸雄 (桃李舎)
	西村 幸雄 (能勢建築構造研究所)
	西村 幸雄 (うらたつみ建築設計室)
	西村 幸雄 (SERB)

●危機管理委員会

委員長	八木 貞樹 (大林組)
副委員長	西村 清一 (大成建設)
委員	西村 清一 (平田建築構造研究所)
	西村 清一 (東畑建築事務所)

●構造士更新講習会等評価WG

委員長	福原 國夫 (防災科学技術研究所)
委員	福原 國夫 (SERB)
	福原 國夫 (東畑建築事務所)

●事業委員会

委員長	新平 保勝 (和田建築技術研究所)
委員	藤前 浩豊 (三菱地所設計)
	山崎 正則 (大林組)
	山崎 元也 (竹中工務店)
	山崎 元也 (山田建築構造事務所)
	山崎 元也 (安井建築設計事務所)
	山崎 元也 (能勢建築構造研究所)
	山崎 元也 (平田建築構造研究所)



## ●事務局だより

### 1.支部総会

5/13(水)13:30~14:30

### 2.支部幹事会

4/13(火)

### 3.四役会

5/7(金)、6/8(火)、7/13(火) (予定)

### 4.事業委員会

4/6(火)

・現場見学会

「本町南ガーデンシティ」(6/10(木))

### 5.技術委員会

5/12(水)18:30~20:00

・第16・17・18回構造設計ゼミナール

○若手実務者研修講座について

7/7(水)18:30~20:30(予定)

○構造設計ゼミナール

4/16(金)18:00~20:00

・サブストラクチャの構造デザイン

7/9(金)18:00~20:00 (予定)

○若手実務者育成講座

4/23(金)13:30~18:00

### 6.広報委員会

4/15(木)18:00~19:00

・Structure Kansai No.106号

編集会議他

7/14(水)18:00~(予定)

・Structure Kansai No.107号

編集会議他

### 7.木造住宅レビュー委員会

4/7(水)10:00~17:00

・木造限界耐力計算の適用条件に関する数値検証

4/27(火)10:30~13:30

・木造限界耐力計算の適用条件に関する検証および学術的見解(上谷研究室)

5/7(金)13:00~15:00

・木造限界耐力計算の適用条件に関する検証、同JSCA関西ホームページ公開

5/20(木)18:00~20:30

・国土交通省・伝統的構法検討委員会・同WG対応協議

### 8.耐震診断・補強判定委員会関西部会

4/14(水)18:00~20:00

・山口県某・奈良県某小学校の耐震診断

5/19(水)18:00~20:00

・山口県某小学校、山口県・兵庫県某中学校の耐震診断

### 9.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会

3/30(火)15:00~18:30

・第3回専門委員会

6/29(火)13:30~17:00 (予定)

・第4回専門委員会

3/6(土)9:30~12:00

・第一次検討用地震動と各種建物の応答について 他

6/5(土)13:00~17:00 (予定)

・WG2(解析法)

5/17(火)14:00~16:30

・5/28事前打合せ

5/17(火)14:00~16:30

・地盤関係など解析結果の検討

4/23(金)9:30~12:00

・減衰特性、復元力特性の検討 他

5/25(火)9:00~11:30

・耐力劣化の検討 他

6/24(木)18:00~(予定)

・暫定地震波による応答解析結果検討

4/22(水)18:00~21:30

・魚骨モデルの諸元を設定するに際して他

5/27(木)18:00~21:30

・魚骨モデルによる耐力低下を考慮した地震応答解析経過 他

4/28(水)17:30~19:30

・応答解析結果の報告

5/17(月)18:00~21:00

・支承反力解析結果の報告

6/1(火)18:00~

・衝突解析結果の報告

### 10.定例研究会

5/13(木)14:45~17:45

・構造デザイン発表会

### 11.支部報

Structure Kansai No.105発行

### 12.技術委員会各分科会

#### ○地盤系分科会

4/15(木)18:00~20:00

・地震WGの資料勉強会

6/17(木)18:15~20:00(予定)

・地盤WGの資料勉強会

8/19(木)18:00~20:00(予定)

・基礎WGの資料勉強会

#### ○RC分科会

4/26(火)18:00~20:00

・最新トピックス紹介 他

6/30(水)18:00~(予定)

・最新トピックス紹介 他

#### ○金属系分科会

6/1(火)18:00~20:00 新日本製鐵

技術情報の説明と質疑応答 他

#### ○構造計画分科会

4/16(金)18:00~20:00 JSCA関西

支部第15回構造設計ゼミナール

#### ○耐震設計分科会

4/16(金)17:30~19:00

免制震 建物・耐震改修他 設計事例勉強会(6)

#### ○PC・工業化分科会

3/16(金)18:00~20:00

・構造設計ゼミナール打合せ/新告示改正項目洗い出し

3/30(火)18:00~20:00

・構造設計ゼミナールWG/PC造の耐震設計説明方法

4/13(木)18:00~20:00

・構造設計ゼミナール打合せ 他

5/11(火)18:00~20:00

・構造設計ゼミナールWG 他

6/4(金)18:00~20:00(予定)

・構造設計ゼミナール打合せ

#### ○木構造分科会

4/7(水)18:30~20:30

・伝統構法木造の構造計算適合性判定の適用について 他

6/2(水)18:30~(予定)

・法制分科会

4/22(木)、16:00~18:00

・建築基準法検討会の攻防ほか

6/14(月)、16:00~18:00(予定)

・建築訴訟事例紹介ほか

#### ○情報システム分科会

4/23(金)18:30~20:00

・大臣認定プログラムの最新情報 他

### 13.サテライト活動

#### ○京滋会

11月 (予定)

・講演会

## ●編集後記

ご多忙中、貴重な時間を割いて原稿を執筆いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます。

本号は5月13日に開催された2010年度関西支部総会・定例研究会の特集号です。特に定例研究会では構造デザイン発表会が行われ、17名の構造技術パフォーマンスには、終始、驚かされました。

会員諸氏のより一層のご活躍をお祈り申し上げます。また、これから暑い夏が始まります。健康にはくれぐれもご留意されますように。(編集担当 白沢、平石)

発行 (社) 日本建築構造技術者協会  
関西支部事務局

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-8-31 (安田ビル3F)

Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL <http://www.mmjp.or.jp/jsca-kansai/>